

事業番号	事務事業名	治山林道管理費	所管課名	建設課	令和 2 年度課長名	安道 智秋
03895	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	牧野 丈夫
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・補助対象とならない林道の小規模な修繕工事、地元団体への原材料支給、幹線林道の除草業務等を単独町費で行なう業務。 ・工事 ①測量設計業務(委託) ②工事発注 ③施工管理 ④完了検査 ・資材支給 ①支給申請事務、②完了検査 ・除草業務 ①設計業務(委託) ②業務管理 ③完了検査	林道維持管理修繕等において補助対象に満たない工事や業務の発注。また、地元維持管理作業費に供するため、事業実施に至ったものである。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 管内林道	→ ア 林道総路線数	m	見込 実績	129 129	129 129	129 129	129 129	129 129
イ	→ イ 林道総延長	m	見込 実績	206,432 206,432	206,432 206,432	206,432 206,432	206,432 206,432	206,432 206,432
ウ	→ ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 森林施業に利用してもらう	→ ア 小規模工事費	千円	目標 実績 達成率	7,200 8,962 124.5%	7,200 1,998 27.8%	7,200 10,505 145.9%	11,000 1,200	13,000 1,200
イ 安全に通行、利用してもらう	→ イ 原材料支給費	千円	目標 実績 達成率	1,890 905 47.9%	1,890 1,349 71.4%	1,890 1,231 65.1%	1,200	1,200
ウ	→ ウ 重機借上げ費	千円	目標 実績 達成率	1,760 1,663 94.5%	1,760 3,968 225.5%	1,760 1,652 93.9%	1,800	1,800

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 設計施工管理	→ ア 小規模工事件数	件	目標 実績 達成率	15 17 113.3%	15 9 60.0%	15 16 106.7%	15	15
イ 原材料支給事務	→ イ 原材料支給件数	件	目標 実績 達成率	7 5 71.4%	7 13 185.7%	7 9 128.6%	7	7
ウ	→ ウ 重機借上げ件数	件	目標 実績 達成率	8 12 150.0%	8 19 237.5%	8 10 125.0%	10	10

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計	款 06 農林水産業費	項 02 林業費	目 02 林業振興費	大事業 18 中事業 01	予算上の事業名	事業番号						
						治山林道管理費	03895						
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町債							町債						
その他特財							その他特財						
一般財源	25,286	23,896	30,949	29,488	31,000	7,053	一般財源	23,760	23,737	30,322	29,488	31,000	6,585
合計	25,286	23,896	30,949	29,488	31,000	7,053	合計(A)	23,760	23,737	30,322	29,488	31,000	6,585

財源名称	従事正職員人数	1	1	1	1	1		
	延べ業務事務時間	120	120	120	120	120		
	人件費計(千円)(B)	406	420	401	402	402		
	最終予算額 30,949 千円	予算執行率 97.9%	トータルコスト(A+B)	24,166	24,157	30,723	29,890	31,402

主な支出事業内容(予算)	委託料	16,843 千円	主な支出事業内容(決算)	委託料	16,833 千円
	借上料	1,745 千円		借上料	1,652 千円
	工事請負費	10,506 千円		工事請負費	10,505 千円
	原材料費	1,754 千円		原材料費	1,231 千円
	補償費	101 千円		補償費	101 千円

事業番号	03895	事務事業名	治山林道管理費	所管課名	建設課
------	-------	-------	---------	------	-----

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
木材価格が低迷し、森林所有者の施業意欲の低下、林業所得の減少、林業就業者の減少・高齢化等が悪循環をなして進行している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
特に無し。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
林業従事者等から林道の修繕等の要望ある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	林道を維持管理することにより、安心安全な通行が図られ、森林の整備・環境保全の推進につながる。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	公共施設の適正な維持管理は町の義務であり、森林の整備・環境保全の推進につながる。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	町の管理する林道であり、維持管理することにより林道利用者の安心安全な通行が図られる。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	予算規模を拡大すれば成果はより上がる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	林業を取り巻く環境を考慮すると、受益者単独ですべての維持管理を行うことは困難である。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	これ以上の改善余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	林業を取り巻く環境を考慮すると、受益者単独ですべての維持管理を行うことは困難である。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	人件費は、資材支給申請、小規模な工事、除草業務に係るものであり削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	受益地の所有者に最もメリットがあるが、林道維持によって行われる森林施業は森林保全につながり、水源かん養等広い範囲での便益がある。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	森林施業には欠かせない道であり、要望に応じて適正に維持管理していく必要がある。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		<p style="text-align: center;">今後の改革改善案</p> <p>県、地元等との調整を行ないながら事業を実施し、計画的な事業推進を図る。</p>																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)</p>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								